

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	リスク心理特講		
担当教員	木村 敦		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	水 2		
講義室	1209	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	講義・発展		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1 [意欲・経験・適性] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察 (20%)</p> <p>DP2 [学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能 (50%)</p> <p>DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力 (20%)</p> <p>DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力 (10%)</p>		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	—		
科目概要・キーワード	<p>リスクを回避するためには、リスクを受容する人の認知プロセスに関わる心理的な側面を理解する必要があります。特に個人レベル、集団レベルでの心理的な要因とメカニズムに関して理解することは、意思決定に基づくリスク回避行動を考えるうえで不可欠です。そのため、本講では様々なリスクに関する個人的、または集団的な心理的なプロセスに着目しながら、人のリスクに関する心理について学修します。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、意欲・経験・適性、判断力・思考力・表現力、主体性・多様性・協調性といった汎用的能力を開発することを目的とします。</p> <p>授業形態は講義と一部演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業(ライブ型・オンデマンド型)を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード リスク認知、説得的コミュニケーション、リスク心理測定法</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 リスク認知の特性を踏まえたリスクコミュニケーションのあり方を探求する</p> <p>■授業の目的 リスクに関する個人・集団の心理特性を学修し、リスクコミュニケーションに関する諸問題を、論理的に分析・対処する考え方を身につける。</p> <p>■授業のポイント この授業では、リスク心理について「リスク認知」「楽観バイアス」「説得的コミュニケーション」「リスクホメオスタシス」といった心理学的概念の側面から理解していきます。講義に加え、リスク認知の測定やリスクコミュニケーションツールの体験、リスク心理に関する研究論文の読解と研究計画の立案といった演習を行うことで、専門的・実践的な学びを展開します。</p>		
総合到達目標	<p>■リスク心理に関わる諸概念について理解し、リスクコミュニケーションに必要な基本的知識を習得し、問題とそれへの対処のあり方について、自分なりの視点から論ずることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク認知の諸特性について説明できるようになる(第1～15回) ・リスクコミュニケーションのためのツールについて、長所・短所を含めて説明できるようになる(第5～7回) ・リスク心理の代表的研究論文について、その研究方法と結果の概略を説明することができる(第9～11回) ・リスク心理に関する妥当な研究計画を作成することができる(第12～14回) ・心理学的研究法に基づき、リスク心理に関する先行研究の方法論の妥当性を評価することができる(第5～14回) 		
成績評価方法	<p>■リアクションペーパー2回 (20%) (評価の観点) 授業内容の理解とそれに基づく問題解決的思考ができていないかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説・講評を行います。</p> <p>■プレゼンテーション2回 (40%) (評価の観点) リスク心理に関する研究論文の要約プレゼンと、リスク心理に関する研究計画作成の報告を行い、その内容と資料、プレゼン技術について評価します。 (フィードバックの方法) 報告内容について解説するとともに、評価の観点に基づいて報告後に講評を行います。</p> <p>■授業参加度 15回 (40%) (評価の観点) 講義や演習課題、ディスカッションへの参加度を評価します。 (フィードバックの方法) 授業時間中に講評を行います。</p>		
履修条件	—		
履修上の注意点	履修者の人数や心理学的研究法・データ解析法への習熟度等によって授業進行・発表回数等を調整する場合がありますので、ご承知おきください。		
授業内容	回	内容	
	1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(DP-1, 3, 4)。</p>	

	<p>③予習 (120分) シラバスの内容を精読し、当科目の学修計画を作成する。</p> <p>④復習 (120分) 講義ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。</p>
2	<p>①授業テーマ リスク認知の測定</p> <p>②授業概要 リスク認知を測定するための心理尺度について説明できるとともに、自身の結果と一般的な結果の傾向について比較して論じられるようになる(DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている引用・参考文献を入手して一読してくる。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
3	<p>①授業テーマ リスク認知の特性</p> <p>②授業概要 個人および集団のリスク認知特性について具体的な研究例を挙げて説明できるようになる(DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
4	<p>①授業テーマ 楽観バイアス</p> <p>②授業概要 リスク認知における楽観バイアスの影響について具体的な研究例を挙げて説明できるようになる(DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている引用・参考文献を入手して一読してくる。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
5	<p>①授業テーマ 説得とリスクコミュニケーション</p> <p>②授業概要 説得や態度変容に関する心理学的モデルについて具体的な研究例を挙げて説明できるとともに、その心理プロセスに基づいてリスクコミュニケーション上の課題を論じることができるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている引用・参考文献を入手して一読してくる。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
6	<p>①授業テーマ リスクコミュニケーションのツール(1)</p> <p>②授業概要 リスクコミュニケーション教育で用いられている教材の体験を通じて、現状のリスクコミュニケーションの効果と課題を論じられるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 教材の説明書や参考資料を読み、教材の使用法について把握する。</p> <p>④復習 (120分) 教材の効果や課題について、自分や他者の意見をノートにまとめる。</p>
7	<p>①授業テーマ リスクコミュニケーションのツール(2)</p> <p>②授業概要 リスクコミュニケーション教育で用いられている教材の体験を通じて、現状のリスクコミュニケーションの効果と課題を論じられるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 教材の説明書や参考資料を読み、教材の使用法について把握する。</p> <p>④復習 (120分) 教材の効果や課題について、自分や他者の意見をノートにまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ リスクホメオスタシス理論</p> <p>②授業概要 リスクホメオスタシス理論について具体的な研究例を挙げて説明できるとともに(E1)、リスクホメオスタシスに基づくリスク補償行動について具体例を挙げて説明できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている引用・参考文献を入手して一読してくる。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
9	<p>①授業テーマ リスク心理の研究論文(1)</p> <p>②授業概要 リスク心理の代表的論文の全文および要約の読解を通じて、当該研究の問題意識、研究方法、結果について正確に説明できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された研究論文について全文を一読し、不明な部分は質問できるように準備する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
10	<p>①授業テーマ リスク心理の研究論文(2)</p> <p>②授業概要 リスク心理の代表的論文の全文および要約の読解を通じて、当該研究の問題意識、研究方法、結果について正確に説明できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された研究論文について全文を一読し、不明な部分は質問できるように準備する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
11	<p>①授業テーマ リスク心理の研究論文(3)</p> <p>②授業概要 リスク心理の代表的論文の全文および要約の読解を通じて、当該研究の問題意識、研究方法、結果について正確に説明できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 事前に提示された研究論文について全文を一読し、不明な部分は質問できるように準備する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ リスク心理の研究計画(1)</p> <p>②授業概要 先行研究を参照しながらリスク心理に関する研究課題を説明できるようになるとともに、その課題を検証・解決するための妥当な研究計画書を作成できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 自身が関心あるリスク心理トピックについて先行研究を調べてリスト化する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
13	<p>①授業テーマ リスク心理の研究計画(2)</p> <p>②授業概要 先行研究を参照しながらリスク心理に関する研究課題を説明できるようになるとともに、その課題を検証・解決するための妥当な研究計画書を作成できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。</p> <p>③予習 (120分) 自身が関心あるリスク心理トピックについて先行研究を調べてリスト化する。</p> <p>④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
14	<p>①授業テーマ リスク心理の研究計画(3)</p> <p>②授業概要 先行研究を参照しながらリスク心理に関する研究課題を説明できるようになるとともに、その課題を検証・解決</p>

	<p>するための妥当な研究計画書を作成できるようになる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習 (120分) 自身が関心あるリスク心理トピックについて先行研究を調べてリスト化する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。</p>
15	<p>①授業テーマ 授業総括 ②授業概要 授業総括を通じて、当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになるとともに、授業参加度のフィードバックを通じて学識・専門技能、意欲・経験・適性、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性に関する気づきや成長について具体例を挙げながら説明することができる (DP-1, 2, 3, 4)。 ③予習 (120分) これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識・技能・態度を論じられるように準備する。 ④復習 (120分) 授業総括および教員からのフィードバック内容を振り返り、自分の考えを再検証する。さらに、当科目の到達度を自己評価し、到達目標達成のために必要な課題を自ら選定して実施・提出する。</p>
関連科目	—
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	授業内で適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 開講年度のオフィスアワーリストをご確認ください。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取って下さい。</p>
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%; パブリックセキュリティ25%; グローバルセキュリティ25%; 情報セキュリティ25% ■危機管理と法学のバランス 危機管理90%; 法学10%</p>

